

## 鳴神山～吾妻山山行報告

【山行日】2021年 9月 11(土) 曇り  
【集 合】岩舟支所P AM 5:30  
【費 用】マイカー2台 : 1,300円  
【メンバー】CL:鈴木、SL:大西 青柳、  
安西、飯口、嶋田、島田、関、廣瀬、福島  
【コースタイム】岩舟支所P5:30＝大滝登山口  
6:45/7:00～肩の広場 8:30～鳴神山 8:40/8:50  
～肩の広場 9:00～花台沢ノ頭 10:00/10:10～  
金沢峠 11:00～岡平 11:50/12:30～反射板P  
13:50/14:00～吾妻山 14:10/14:20～吾妻公園  
P15:30/15:45＝岩舟支所P16:40



8月中旬から秋雨前線が日本列島に掛かり続け、今週もぐずついた空模様が続いていた。谷川岳に登る計画だったが雨の予報なので、雨が降らない山を探し急遽鳴神山～吾妻山を計画した。



岩舟支所を5時30分に出発し、吾妻公園に寄ってトイレを済ませ大滝登山口に向かった。大滝登山口で出発の準備を整え、皆さんがストレッチを行っている間に車を下の路肩に移動させる。樹徳高校大滝山荘の脇を登って行くと、沢沿いの林道を登るようになる。やがて正面に大滝が現れ、林道は右に大きくカーブして登るが、SLが直登すると道が不明瞭で分からない。我輩が薄い踏み跡らしき道を辿り、何とか滝上の林道に出られた。ここからもしばらく沢沿いの林道を

登り、苔むしたコンクリートの急坂を登り切ると山道になる。雑木林の登山道をしばらく登ると、不動尊が祀られた水場に着く。この先からカッコソウ保護の為ロープが張られ、新コースと旧コースに分かれる。歩いたことがある旧コースを登って行くが、岩がゴロゴロで歩きにくく新コースの方が歩き易いようだ。やがて新旧コース合流し、さらに急登を登ると右に雷神岳神社の建屋が見えるようになり、まもなく平らな広場に出る。ここが肩の広場で反対側の川内の駒形登山口からの道と合さる。左に行けば吾妻山への縦走路だが、右に登って鳴神山頂を目指す。ここから新人の飯口さんの指導を任せられ、我輩が先頭で登りの足運びを指導しながら山頂に着く。水場あたりから小雨が降り出したが、山頂は雨が上がって明るくなり眺望も得られた。



展望を楽しみながらリンゴや菓子をいただき、記念写真を撮ったら肩の広場まで戻る。広場からは



SLが先頭になり、吾妻山への縦走路を南に向かって進む。雑木林の尾根を小さなアップダウンを繰り返して進み、爽やかで気持ちが良い尾根歩きが続く。やがて急坂を登るようになり、登り切ったピークが花台沢ノ頭で休憩を取る。ここからも爽快な尾根歩きが続き、石宮と神像が安置された三峰山に着き、小休止してエネルギーと水分を補給する。この先、急降下で降りた鞍部が金沢峠で、東に下ると金沢集落で西に下ると大崩集落に至る。峠から直進し、急坂を登り返したピーク

が大形山で展望が良い。ここで昼食をとる声が上がったが、もう少し先の伐採地が明るく展望が良いのでそこまで引っ張る。平坦で気持ちが良い尾根歩きが続き、少し下って行くと伐採地に出たが植林した木が伸びていた。少し先の岡平まで下ると展望が良く、倒木のベンチがあったのでここでランチタイムとする。お湯を沸かし各自持参したカップ麺やスープを作り、おにぎりやパンをいただいた。以前は植林した木をグレーのネットで覆い、異様な光景だったが4年の歳月で木が大きく育っていた。ここからもアップダウンを繰り返して進み、ようやく見覚えがある村松峠に着いた。しかしここからも木の階段の急登が連続し、今日一番の辛い登りが続く。反射板が設置された雌吾妻山に着き、SLが疲れ果てたように座り込む。吾妻山で大休止する予定だったが、ここで休憩し果物や菓子を食べて疲れた足を休める。我輩はタクシー会社にTELLし、下山口の吾妻公園にタクシーを予約する。ここから福島さんと2人で先行し、速足で吾妻公園へ下って行く。公園の駐車場に早く着き、タクシー会社にTELLして時間を早めてもらう。タクシーで大滝登山口まで行き、車2台を回収して吾妻公園に戻る。しばらくすると全員が下山して、靴を履き替えトイレを済ませたら帰路につく。急遽、鳴神山～吾妻山縦走に変更になったが、皆さん山を歩きたいという気持ちが強く感じられ、ロングトレイルを歩き切った満足感に溢れた清々しい顔になっていた。